香川大の取り組みから見る

郷土の未来づくり 2

産業を作る ㊦ 薬草ビジネス

漢方薬の原料栽培

遊休農地解消も期待

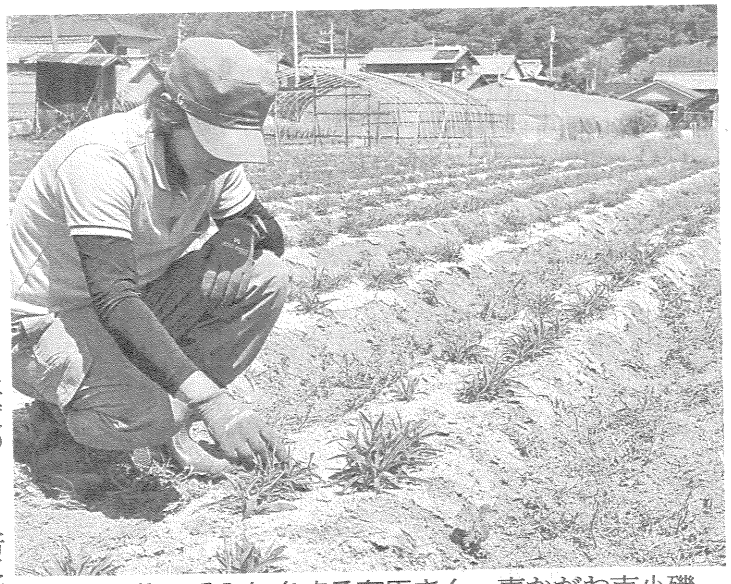
6月上旬。東かがわ市小磯。以前はブロッコリーやネギが栽培されていた畑に、10センチほどに育った見慣れない植物が並ぶ。「知らない人が見れば、雑草と見分けがつかないでしょう。最初は私もそうでした」。生産者の有馬康高さん(35)は笑顔で植物の名前を口にした。ミシマサイコ。セリ科の多年草で、根が漢方の原料に使われる。

香川で育てた薬草を使って漢方薬を製造、販売する―。そんなプロジェクトが県内で進んでいる。香川大と百十四銀行、野村証券が連携し、アグリビジネスによる地域活性化を目指す研究コンソーシアム「かがわアグリイノベーションズ」の一環で、同大大学院地域マネジメント学科を修了した有馬さんが提案した。ミシマサイコの試験栽培は第1弾の取り組み。約20アールの畑に今年2月に種まきし、冬の収穫を見込んでいる。

それにしても、なぜ漢方の原料に着目したのか。有馬さんによると、健康ブームなどを背景に漢方薬の需要は拡大。ただ、原料となる薬草の8割は中国からの輸入品で、中国国内の需要増や輸出制限などもあって、輸入価格は高騰気味。そこで日本の製薬メーカーは、国産の薬草確保に力を入れ始めているという。

既に山形県などでは産・官・学による薬草の産地化プロジェクトが始動。四国の他県でも同様の動きがみられる。2015年の漢方薬の国内生産額は07年に比べて倍増し2000億円を超えるとの試算もあり、「香川の農業にとっても、起爆剤となる」（有馬さん）わけだ。

実際、県内の農業を取り巻く環境は厳しい。県によると、11年度の県内の耕作放棄地は約560ヘクタール。担い手不足や高齢化が要因となって、1990年度の1・5倍に拡大している。



畑で薬草の手入れをする有馬さん＝東かがわ市小磯

薬草ビジネスによって遊休農地を解消する狙いもある。例えばミシマサイコは雨が少なくても育つ上、種まきから収穫までの期間も1年足らずと比較的短くて済む。香川の気候や風土に適しているとみており、農家の安定的な収入源にしたい考えだ。

今年5月には農業生産法人を設立した。来年は生産農家を40人体制へと増やし、ミシマサイコ以外の薬草栽培にも乗り出す方針。有馬さんは「販路の問題など課題は少なくないが、100％県産漢方薬を製品化することで香川の農業の活性化につなげたい」と意気込む。

改正道交法が成立

病状 虚偽申告に罰則

車の運転に支障を及ぼす可能性のあるてんかんや統合失調症などの病気の患者が、免許の取得や更新時に病状を虚偽申告した場合の罰則を新設することを盛り込んだ改正道交法が7日、衆院本会議で可決、成立した。

改正法には、車の無免許運転の罰則引き上げや、ほう助行為に対する罰則の新設、悪質な自転車運転者に対する安全講習の義務化も制度化した。

病状の虚偽申告は公布から1年以内、無免許運転の規定は半年以内、悪質自転車の講習義務化は2年以内に施行する。

病状の虚偽申告に関する罰則は「1年以下の懲役または30万円以下の罰金」。診察した医師が患者の病状を都道府県の公安委員会に

「誰かが伝えなければ れるだろうか」。迷いを が「家族や周囲から愛さ めて鉛筆を持ってくれ いる。

の現地代表として、約30年にわたりパキスタンやアフガンで貧困層のための医療支援を継続。2000年に大干ばつに見舞われたアフガンで水源確保事業を始め、1600本の井戸を掘った。

10年には九州の筑後川流

寺町新名865 10時から勅使町 ニー会館勅使 おさん 岡ベル 森 広幸さん き）5日死去、 8日正午から勅 ルモニー会館勅 健二（やまも ＝四国新聞社販 岡ベルモニー葬 渡辺 忍さん とむ）7日死去、 町福家甲225 後1時から綾川 1の協同セレ 長男・真二（ A葬祭。

さぬき

悴山 泰弘さん やすひろ）7日 田野間田59 1時から長尾 アルホール長 （こういち） ホール長尾。

小豆郡

九富 節子

告別式な は、直接ま 087（8 5924

心よ